

令和6年度 仙台市若林障害者福祉センター防災訓練を実施しました

令和6年8月13日
仙台市若林障害者福祉センター

去る令和6年7月25日（木）、仙台市若林障害者福祉センターにて、防災訓練を実施し、センター職員22名が参加しました。

今回は、夕方の訓練とし、午後4時15分頃に宮城県沖を震源とする震度6強の地震が発生したという想定の下、避難訓練を行いました。また、今回は緊急地震速報を活用し、地震発生を知らせるアラームを鳴動後、身体の保護を行い、揺れが収まってから避難誘導を開始しました。

その後、全職員で垂直避難訓練（風水害時等、緊急時における車いすの搬送訓練）を行った他、防災業者より非常用放送設備機器の使用方法を学び、全職員で防災意識を高める機会となりました。

今後も様々な災害を想定した訓練を行い、迅速に対応できるよう体制強化に努めてまいります。



～参加者の声～

- これまでの数度の訓練を重ね、落ち着いて対処できた。
- 今回初めて事務所内にある非常用放送設備機器について説明があり、詳しく聞けて良かった。
- 垂直避難の手段として、車いすの他にも担架等があると思いますが、手段の種類、その場所の確認訓練等も行ってみたい。
- 災害発生時の訓練はこれまでも実施してイメージしているのですが、数分後から地域の方がセンターに避難してきた場合の対応を知る機会もあると良いと思いました。